

○レスプレレン錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 エブラジノン塩酸塩 eprazinone hydrochloride 【分類】 鎮咳・気道粘液溶解剤

【単位】 ▼5mg・▼20mg・○ 30mg/錠

【常用量】 60～90mg/日

【用法】 分3

【透析患者への投与方法】 未変化体尿中排泄率が低いいため、減量は必要ないと思われる (5)

【保存期腎不全患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 喀痰中の DNA 高含有繊維、酸性ムコ多糖類繊維の性状を変化させ、膨化・遮断・短縮作用により強い粘液溶解作用を示すと共に粘液を減少させる。また痰の粘稠度を低下させる。さらに気道分泌を増加させる。

【主な副作用・毒性】 過敏症状、時に食欲不振、悪心、嘔吐、頭痛など

【tmax】 2hr [ラット] (1)

【代謝】 水酸化され M1、M4 代謝物になる。脱アルキル化により M2、M3、M5 代謝物になる (Arzneimittelforschung 31: 719-722,1981)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 5%未満 [24hr まで] (1)

【t1/2】 4～5hr (1)

【MW】 453.45

【透析性】 データなし (1)

【TDM のポイント】 TDM の対象にはならない 【O/W 係数】 資料なし (1)

【更新日】 20180403

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。